

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301
TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

負極材プロジェクトの新たな進展

このほど、四川省、湖北省、大連市、上海市の負極材プロジェクト 4 件が新たな進展を遂げた。これらの合計生産能力は 51 万トン以上あり、その投資額は約 242 億元（約 5,082 億円、1 元≒21 円、以下同）である。詳細は以下の通りである。

1. 四川紫宸科技の 28 万トンの黒鉛負極材プロジェクト

成都日報 3 月 4 日付のニュースによると、四川紫宸科技有限会社のリチウム電池用負極材産業基地プロジェクトが 2024 年 3 月から稼働予定で、その投資額は 115 億元（約 2,415 億円）、年間 28 万トンの負極材製品を生産する。

四川紫宸科技有限会社は上海璞泰来新エネルギー科技株式会社（以下、「璞泰来」）の完全子会社である。璞泰来は四川省で年間 20 万トンの負極材生産基地を計画していたが、2023 年 5 月 30 日に、年間 8 万トンの黒鉛負極材生産基地の追加建設、及び新エネルギー電池材料産業研究院の設立を発表した。これにより、璞泰来の四川省での黒鉛負極材生産は 28 万トンになると見込まれている。

第 1 期の年間 10 万トンの負極材プロジェクトは設備の据付・調整に入り、3 月中に生産開始されるとしている。

2. 上海バクスの 3 万トンの高性能負極材プロジェクト

3 月 6 日、湖北省宜昌市で上海バクス超伝導新素材有限会社（以下、「上海バクス」）の 3 万トンの高性能負極材プロジェクトの調印式が行われた。宜昌市当陽双蓮産業パークに立地するこのプロジェクトは、上海バクス、湖北玉地置業有限会社、香港中景国際株式会社によって投資建設される。総投資額は約 20 億元（約 420 億円）で、全自動化生産ライン 30 本を設置して年間 3 万トンの高性能負極材を生産する。

上海バクスは四川省徳陽市、内モンゴル自治区アルシャー盟、陝西省西安市における負極材産業基地を進めており、2024 年の負極材生産能力は 10 万トンを見込んでいる。

3. 貝特瑞（BTR）の負極材プロジェクトの第 1 期事業

3 月 11 日、大連グラファイトバレーカーボン材料産業新城プロジェクトの着工式が行われた。このプロジェクトは貝特瑞（BTR）新材料集団株式会社（本社は広東省深圳市）と黒竜江省石墨谷（グラファイトバレー）産業集団株式会社によるものである。

第 1 期プロジェクトの総投資額は 61.6 億元（約 1,293.6 億円）で、カーボンナノチューブの生

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

産量は年間 1,300 トン、人造黒鉛は 48.5 万トン、人造黒鉛負極材は 10 万トンを見込んでおり、2025 年末までに稼働する計画である。また、第 2 期プロジェクトは 15 億元（約 315 億円）を投資し、天然黒鉛負極材プロジェクトの建設を積極的に推し進めていく予定である。

4. 炭一新エネルギー集団の 10 万トンの天然黒鉛負極材プロジェクト

3 月 16 日、炭一新エネルギー集団有限責任会社（本社は浙江省衢州市）は上海市宝山区で天然黒鉛負極材プロジェクトの建設を再開した。プロジェクトの総投資額は 30 億元（約 630 億円）で、リチウムイオン電池用負極材を年間 10 万トン、副製品としてカーボンレイザーを 52,700 トン生産する。

炭一新エネルギー集団の創始者である董事長の岳敏氏は、貝特瑞（BTR）新材料集団創始者の一人でもある。当社の株主には比亞迪（BYD）株式会社、農道資本、紅杉資本中国基金、カーボンニュートラル技術基金（遠景科技集団(Envision Group)と紅杉資本中国基金が共同設立）、深圳市投資ホールディング有限公司などの企業や投資ファンドが含まれている。現時点で、雲南、安徽、浙江、山東、黒竜江の 5 省に 9 つの生産拠点を有している。

情報源：ICC 資訊より